



22 建指第 135-2 号  
平成 22 年 (2010 年) 7 月 30 日

矢作建設工業株式会社  
取締役社長 山田文男様

長野県既存建築物耐震化評価委員会  
会長 笹川 明



既存木造住宅の耐震補強に関する技術等の評価について

平成 22 年 3 月 15 日付けで申請のありました下記の工法について、本委員会において審査した結果、既存木造住宅の耐震性を向上させるものとして評価しました。

記

|        |   |
|--------|---|
| 技術等の名称 | 戸建て木造住宅用外付け耐震補強工法「ウッドピタブレース」<br>(半間タイプ、1 間タイプ、半間上部タイプ、1 間上部タイプ)   |
| 技術等の概要 | ターンバックル付きブレースとウッドピタアンカーおよび接合プレートで構成されたシステムであり、低コストで居つき施工を可能にするために、建物外部からブレース材を取り付けることで既存木造住宅の耐震性能を向上させる外付け補強工法。 |
| 設計の方法  | 提出された設計マニュアルによる<br>(財団法人日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法又は精密診断法 1 を用いる。)  |
| 施工の方法  | 提出された施工マニュアルによる   |

備考：この評価を受けた工法は、長野県内の市町村が実施している住宅・建築物耐震改修促進事業の既存住宅耐震補強補助事業の対象となります。